

IBM Emptoris Sourcing on Cloud

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、契約を結ぶ当事者、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者を意味します。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別途「取引文書」として提供されます。

1. クラウド・サービス

IBM Emptoris Sourcing on Cloud は、お客様が以下のようなソーシング・イベントを管理することができるシステムです。情報要求 (以下「RFI」といいます。)、見積依頼 (以下「RFQ」といいます。)、提案要求 (以下「RFP」といいます。)、バイヤー調査、英語によるリバース・オークション、およびフォワード・オークション。このシステムにより、お客様は、サプライヤーが提出する入札書および応札書の作成、実行、監視、レポート (標準レポートを使用します。) および落札を行うことができます。

「クラウド・サービス」のインフラストラクチャーは、以下をサポートするように構成されています。

- RFP、RFI、RFQ、または購買者調査イベントを実行する「コンカレント・ユーザー」300 人
- 英語によるリバース・オークションおよび英語によるフォワード・オークションを実行する「コンカレント・ユーザー」270 人
- 日本語またはオランダ語によるリバース・オークションまたはフォワード・オークションを実行する「コンカレント・ユーザー」60 人

「コンカレント・ユーザー」とは、同時にシステムにログオンし、アクティブな状態にあるユーザーと定義されます。システムは、さまざまな要因に応じて、追加の「コンカレント・ユーザー」の数量を処理するように構成することができます。さらなる使用量をサポートするためには、追加のインフラストラクチャー・リソースが必要になる場合があります。

基本機能によって、お客様は以下を行うことができます。

- RFI、RFQ、RFP、バイヤー調査、英語によるリバース・オークション、フォワード・オークションを作成および実行する。
- 上記のイベント・タイプのテンプレートを作成する。
- イベント作成を補助する Smart データ・フレームワークおよびライブラリー機能の利用。
- 標準レポートのセットを用いた、データ・イベントに関するレポート。
- バイヤー組織を 1 件セットアップする。

拡張機能によって、お客様は以下を行うことができます。

- ソーシング・デスクトップ・インテリジェンス (SDI) により、入札データをエクスポートし、Microsoft Excel の機能にアクセスしてさまざまな分析タスクを実行する。
- シナリオ分析により、あらかじめ構築されたソーシング最適化機能を用いて、お客様に固有のソーシング要件およびビジネス上の優先事項を満たす制約を作成する。
- 最適化オークションにより、オークションにおいて費用のみが唯一のサプライヤーのランク付けの要因とはならないように、イベント全体で最適化を実行できるようにする制約を作成する。
- 調整可能な入札により、一括入札、事業量入札および大口取引割引を行う。
- サプライヤー決定サポートおよびコラボレーションにより、サプライヤーに自らの入札に関するフィードバックを提供することで、サプライヤーが革新的な解決策を提示し、自らの競争の優位性を強調し、入札を最適化することができる。
- 一札入札および二札入札により、バイヤーは、一札制または二札制の構造として RFP を構成することができる。

1.1 基本サブスクリプション

以下は、利用可能な「クラウド・サービス」として提供されている「クラウド・サービス」のサブスクリプション・オプション(以下、それぞれを「基本サブスクリプション」といいます。)に関する記述です。「取引文書」には、購入済みの「基本サブスクリプション」が記載されています。本文書における「クラウド・サービス」の参照は、購入した「基本サブスクリプション」に適用されます。

1.1.1 IBM Emptoris Sourcing Premium on Cloud

この「クラウド・サービス」には、基本機能と拡張機能が含まれています。

1.1.2 IBM Emptoris Sourcing on Cloud

この「クラウド・サービス」には、基本機能のみが含まれています。

1.2 オプション機能

1.2.1 IBM Emptoris Sourcing on Cloud Advanced Add-on

この「クラウド・サービス」は、IBM Emptoris Sourcing on Cloud に拡張機能を追加します。このオプションを購入するためには、お客様は、既に IBM Emptoris Sourcing on Cloud のサブスクリプションに加入していなければなりません。

1.2.2 IBM Emptoris Sourcing on Cloud Burst Option for EchoSTM

この「クラウド・サービス」 オファリングは、構成に追加サーバーを追加することにより、標準のサーバー構成を超えるキャパシティの必要量を増強する機能を提供します。

1.2.3 IBM Emptoris Sourcing on Cloud Event Monitoring

この「クラウド・サービス」 オファリングは、お客様と連携してイベントを実行および監視するとともに、サプライヤーを指導して、イベントの開始から終了までを通じてサプライヤーをサポートするオンデマンド・サービスです。

1.2.4 IBM Emptoris Sourcing on Cloud Read Only

お客様は、レポートを閲覧、モニター、検索および実行して、招待された「イベント」を評価することができます。

1.2.5 IBM Emptoris Sourcing on Cloud for Non-Production Environment

この「クラウド・サービス」は、お客様の非実稼働活動の一部として使用することができます。非実稼働活動には、テスト、性能調整、故障診断、ベンチマーク、ステージング、品質保証活動および公開されたアプリケーション・プログラミング・インターフェースを使用する社内使用の「クラウド・サービス」に対する追加もしくは拡張の開発が含まれますが、これらに限られません。

2. コンテンツおよびデータ保護

「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(「データ・シート」)には、処理対象の「コンテンツ」の種類、発生する処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却に関する仕様書に関する、「クラウド・サービス」に固有の情報が記載されています。「クラウド・サービス」およびデータ保護機能に関する詳細または説明および条件(お客様の責任を含みます。)がある場合には、本条に記載されます。お客様が選択したオプションにより、「クラウド・サービス」のお客様による使用に適用される「データ・シート」が複数ある場合があります。「データ・シート」は英語のみの提供となります(現地言語での提供はありません)。現地の法律または慣習の慣行にかかわらず、両当事者は英語を理解していること、および「クラウド・サービス」の取得および使用に関して英語が適切な言語であることに同意します。以下の「データ・シート」が「クラウド・サービス」およびその利用可能なオプションに適用されます。お客様は、i) IBM が、IBM のみの裁量により、「データ・シート」を随時変更することができ、かつ ii) かかる変更された内容が変更前の内容に置き換わることを承諾します。「データ・シート」に対する変更は、i) 既存のコミットメントの改善もしくは明確化、ii) 最新の採用された基準および適用法への整合の維持、または iii) 追加コミットメントの規定のいずれかを行うことを意図しています。「データ・シート」のいかなる変更も「クラウド・サービス」のデータ保護を著しく低下させるものではありません。

適用される「データ・シート」へのリンク:

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=1E6F4280B87211E7A5A50513C295686A>

お客様は、「クラウド・サービス」の利用可能なデータ保護機能を注文、有効化、または使用するために必要な対策を講じる責任を負うものとします。お客様がかかる対策を講じることを怠った場合(「コンテンツ」に関するデータ保護またはその他の法的要件を満たさないことも含みます。)には、お客様は「クラウド・サービス」の使用に対して責任を負います。

EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、<http://ibm.com/dpa>にある IBM の「データ処理補足契約書」(DPA) および「DPA 別表」が適用され、本契約の一部として参照されます。本「クラウド・サービス」に適用可能な「データ・シート」は「DPA 別表」の位置づけです。DPA が適用される場合、「復処理者」の変更の通知を提供する IBM の義務およびかかる変更に関する異議を申し立てるお客様の権利は、DPA に規定されるとおりに適用されます。

3. サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、「PoE」に記載するとおり、「クラウド・サービス」に関して、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント(以下「SLA」といいます。)を提供します。「SLA」は保証ではありません。「SLA」はお客様にのみ提供され、実稼働環境における使用に対してのみ適用されます。

3.1 可用性クレジット

お客様は、「クラウド・サービス」が利用できず、業務に重大な影響が及んだことを最初に知り得たときから 24 時間以内に、IBM テクニカル・サポート・ヘルプデスクに対して「重要度 1」のサポート・チケットを記録するものとします。お客様は、あらゆる問題診断および解決に関して IBM を合理的な範囲で支援するものとします。

「SLA」の未達を申告するサポート・チケットは、契約月の末日から 3 営業日以内に提出するものとします。有効な「SLA」の申告に対する補償は、「クラウド・サービス」の実稼働システム処理が利用できない時間(以下「ダウンタイム」といいます。)に基づいた「クラウド・サービス」の将来の請求に対するクレジットになります。「ダウンタイム」は、お客様が当該事象を報告した時点から「クラウド・サービス」が復元される時点までの間で計測され、次のものに関連する時間は含まれません。保守のための計画停止または発表された停止、IBM の支配の及ばない原因、お客様または第三者のコンテンツもしくはテクノロジーの問題または設計もしくは指示、サポート対象外のシステム構成およびプラットフォームまたはその他お客様による誤り、またはお客様に起因するセキュリティに関する事故もしくはお客様によるセキュリティ・テスト。IBM は、下表のとおり、各契約月における「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。各契約月の補償の合計額は、「クラウド・サービス」に対する年額料金の 12 分の 1 の 10% を超えないものとします。

バンドルされた「クラウド・サービス」の場合(個別の「クラウド・サービス」オフリングをパッケージ化し、単一オフリングとして、単一の合算料金で販売しているもの)、補償は、バンドルされた「クラウド・サービス」に対する 1 つにまとめられた月額料金に基づいて計算されるものであり、各個別「クラウド・サービス」に対する月額サブスクリプション料金に基づいて計算されるものではありません。お客様は、1 つの個別「クラウド・サービス」に関する請求のみ、一度にまとめて提出することができます。

3.2 サービス・レベル

「契約月」における「クラウド・サービス」の可用性

「契約月」における可用性	補償 (申告の対象である「契約月」における 「月額サブスクリプション料金」*の割合)
99% 未満	2%
97% 未満	5%
95% 未満	10%

*「クラウド・サービス」が IBM ビジネス・パートナーから取得されたものである場合、月額サブスクリプション料金は、申告の対象である「契約月」に対して有効な「クラウド・サービス」のその時点での最新の表示価格に基づいて計算され、それを 50% 割引した額となります。IBM は、直接お客様に払い戻します。

「可用性」は、以下のとおり算出されます。契約月における分単位の総時間数から、契約月における「ダウンタイム」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。

4. テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポートは、電話、電子メール、オンライン・フォーラム、およびオンライン問題報告システムを介して提供されます。IBM の [IBM Software as a service support guide \(https://www.ibm.com/software/support/saas_support_guide.html\)](https://www.ibm.com/software/support/saas_support_guide.html) には、テクニカル・サポートの連絡先情報ならびにその他情報およびプロセスが規定されています。テクニカル・サポートは「クラウド・サービス」と共に提供されるものであり、別個のオフリングとして提供されるものではありません。

5. エンタイトルメントおよび課金情報

5.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- 「許可ユーザー」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。お客様は、直接または間接のいかなる方法においても (例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて) 「クラウド・サービス」へのアクセスを与えられた特定の「許可ユーザー」ごとに、個別に専用のエンタイトルメントをいずれかの手段により取得しなければならないものとします。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」へのアクセスを与えられた「許可ユーザー」の数をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中にアクセスおよび利用が可能な「クラウド・サービス」の「インスタンス」ごとに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

5.2 セットアップ料金

オンデマンドセットアップ料金は、発注された場合、サービスに対して「取引文書」に記載された料金で請求されます。

5.3 請求頻度

選択された請求頻度に基づき、IBM は請求頻度期間の開始時点で支払い期日の到来している料金をお客様に請求します。ただし、後払いの対象となる超過分や料金の使用タイプは除きます。

6. 期間および更新オプション

「クラウド・サービス」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「クラウド・サービス」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「クラウド・サービス」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも 90 日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「クラウド・サービス」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続利用の場合には、「クラウド・サービス」は、お客様が 90 日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「クラウド・サービス」は、かかる 90 日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

7. 追加条件

7.1 共通事項

お客様は、IBM が広報活動またはマーケティングのコミュニケーションにおいて、お客様を「クラウド・サービス」の利用者として公に言及することに同意します。

お客様は、「クラウド・サービス」を、単体または他のサービスもしくは製品と組み合わせて、高リスク活動、即ち核施設、公共交通システム、航空管制システム、自動車制御システム、兵器システム、または航空機の航行もしくは通信の設計、構築、管理、もしくは保守、または「クラウド・サービス」の障害が生命の危険や重大な人身傷害を引き起こすおそれがあるその他のいかなる活動のサポートのためにも使用しないものとします。

7.2 イネーブリング・ソフトウェア

「クラウド・サービス」を使用するには、お客様がご自身のシステムにイネーブリング・ソフトウェアをダウンロードする必要があります。イネーブリング・ソフトウェアにより、「クラウド・サービス」の使用が促進されます。お客様は、「クラウド・サービス」の利用に関連してのみ、イネーブリング・ソフトウェアを使用することができます。イネーブリング・ソフトウェアは現状のまま提供されます。

7.3 クラウド・サービスの更新

IBM は、お客様のタイム・ゾーンにおける営業時間中であることを条件とするスケジュールの可用性に応じて相互に合意した時間に、実稼働環境または非実稼働環境に対してソフトウェア・アップグレードをインストールして構成します。Essential または Premier Premium Support を申し込むお客様は、スケジュールの可用性に基づき週末のスケジュールリングを要求することができます。Premier Premium Support のお客様は、週末のアップグレード予定期間中のスケジュールリングについて優先されます。

IBM は、「クラウド・サービス」の一部として提供された IBM ソフトウェアのバージョンに関するサポートの終了の 12 か月前までに、通知を行います。IBM はお客様と協力して、サポート日の終了前に、「クラウド・サービス」のお客様の各「インスタンス」を当該ソフトウェアのサポート対象バージョンに移行します。お客様は、かかる移行費用を負担します。当該ソフトウェアのサポート対象バージョンへの移行が、通知期間中に完了しない場合（結果として IBM または IBM の従契約者のみに起因して遅延した場合を除きます）、IBM はお客様への 30 日前の書面による通知により、本契約を終了できるものとします。

7.4 データベースのリフレッシュ

IBM は購入された各非稼働システムを対象に、四半期に 1 度、実稼働データベース・コンテンツをお客様の非実稼働環境に複製します。リフレッシュ・サービスは、スケジュールの可用性に応じて、相互に合意した時間に実施されます。

7.5 お客様が提供する認証

「クラウド・サービス」は、お客様がお客様のインターネット URL を使用するよう明確に要求しない限り、IBM が提供するインターネット URL を使用するよう構成されます。お客様が「クラウド・サービス」に対してお客様のインターネット URL を使用することを選んだ場合、当該 URL および要求されるすべての認証について、お客様はすべての責任を負い、その保守を行い、その更新の費用を負担します。お客様は、お客様の「クラウド・サービス」のプロビジョニングが完了する前に、要求された認証およびセットアップ情報を IBM に提供する必要があります。

7.6 累積的使用許諾の要件

お客様は、「インスタンス」の使用許諾のほか、IBM Emptoris Sourcing on Cloud および IBM Emptoris Sourcing Premium on Cloud の「クラウド・サービス」ユーザーの数をカバーするのに十分な「許可ユーザー」の使用許諾を取得しなければならないものとします。

7.7 使用許諾が不要な場合

「管理ユーザー」は、「クラウド・サービス」オファリングに含まれています。お客様は、「クラウド・サービス」の「管理ユーザー」については、「許可ユーザー」の使用許諾を取得する必要はありません。

「管理ユーザー」には、以下を作成する権限が付与されます。内外のユーザー、内外の組織、通貨テーブル、システム・レベルのテンプレート、カテゴリ、データ・ソース、グループ、役割、およびワークフロー。「管理ユーザー」はまた、以下を管理することができます。通知、システム・レベル構成、カテゴリ、およびマスター・サプライヤー・レコード。

外部ユーザー(お客様とかかわりのある外部の第三者に関連するユーザー)に「クラウド・サービス」へのアクセスが提供される場合があります、それらは「ゲスト・ユーザー」とみなされます。お客様は、「クラウド・サービス」の「ゲスト・ユーザー」については、「許可ユーザー」の使用許諾を取得する必要はありません。お客様は、「ゲスト・ユーザー」について責任を負います。この責任には、以下が含まれますが、これらに限られません。a) 「ゲスト・ユーザー」による「クラウド・サービス」に関連するクレーム、b) 「ゲスト・ユーザー」に生じた料金、または c) それらの「ゲスト・ユーザー」による「クラウド・サービス」の誤用。「ゲスト・ユーザー」に提供されるサポートは、以下の事項に限られます。

- パスワードおよびログインに関する問題
- ナビゲーション
- ブラウザーに関する問題
- 製品の機能に関する質問

英語以外の言語によるサポートについては、IBM にご連絡ください。

7.8 OJEU 要件

ソーシング・システムがデータを Tenders Electronic Daily (以下「TED」といいます。)のサイトに送信するために OJEU 機能をお客様が利用する場合、お客様は、OJEU への申し込みおよび GAMMA テストに合格することに、責任を負います。データの伝送は、お客様とその第三者の Web サイト間でのみ行うものとします。IBM は、かかる第三者の Web サイトまたはサービスに関していかなる保証または表明も行いません。IBM はまた、かかる第三者の Web サイトまたはサービスについていかなる責任も負いません。